

課 道	継続 新規	継続	経常 特別	経常 指示	担 当	造林課	開発 箇所	都城 大川原 120㍓	期 間	60 56-59	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
														千円			
目的	スギさし木苗の発根形態別生長試験											物件費					
	1. 密着造林を前提として植付直後から飛躍的な成長をはかり無下刈による造林技術の体系を確立する。 2. 多段根苗は普通根苗に比して良い初期成長を示す傾向がみられるので多段根苗と生長との関係の究明と多段根苗養苗の技術を開発する。											役務費					
												人件費					
												計					

全 体 計 画	実 施 経 過	当 年 度 分						
		実 施 計 画	実 施 結 果	評価および普及計画				
<p>1. 設定年度 57年3月</p> <p>2. 供試苗 イ. スギさし木養苗一年生を5クローン ロ. 多段根各クローン20本×5=100本 普通根各クローン20本×5=100本</p> <p>3. 作業方法 多段根苗と普通根苗をプロット別従植</p> <p>4. 調査事項 樹高測定 毎年 5. 7. 9. 11月末</p>	<p>育苗方法 56年3月5クローンをオキシロン粉剤区、液剤区、対照区に区分し縦傷、斜傷別に処理を付。 57年3月掘取調査 イ. 苗長(L) } 毎木 ロ. 全重(G) } ハ. 着根部分の長さ(l) ニ. 着根部分の重さ(g1) ホ. 他の部分の根重さ(g2) ヘ. ハニホは標本10本のみ調査。</p>	<p>調査事項 樹高測定 5. 7. 9. 11月末</p>	クローン別成長量 (3 成長期)		<p>1. 成長量 多段根 > 普通根の成長差が縮る傾向がみられてきた。 クローン間では宮崎6号、丹始良11号が良好な成長を示し、中でも多段根の有意性が顕著と認められる。 高岡1号、日南1号では逆の現象がみられる。</p>			
			クローン名	根 別		植栽時	57年11月	成長量
			高岡6号	多段根		42.5	161.4	118.9
			1号	普通根		42.8	168.7	125.9
			宮崎6号	多段根		50.0	206.2	152.9
			6号	普通根		45.6	175.4	129.8
			丹始良	多段根		58.0	154.0	96.0
			7号	普通根		49.4	135.4	86.0
			丹始良	多段根		45.9	220.4	174.5
			11号	普通根		40.0	194.5	154.5
日南	多段根	44.4	162.8	118.4				
1号	普通根	34.8	157.1	122.3				
平均	多段根	48.8	181.0	132.1				
	普通根	42.5	166.2	123.7				

課 題	新規 別 継続	継 続	経常, 特別別	経常	担 当	開 発 箇 所	期 間	昭和 56 年度 — 昭和 60 年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
			目標との関連	1-エ							物 件 費	調査用品		円	千円
						造林課	都城 大川原 120㍍				役 務 費	現債, その他			
											人 件 費	(基 礎) 臨 時	(1,500)		()
											計	—			()
目 的	1.密着造林を前提として植付直後から飛躍的な生長をはかり無下刈による造林技術の体系も確立する。 2.多段根苗は普通根苗に比して良い初期生長を示す傾向がみられるので多段根苗と生長との関係究明と多段根苗育苗の技術を開発する。														
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分											
				実 施 計 画				実 施 結 果				評 価 お よ び 普 及 計 画			
1. 育苗 (1) 発根促進 ア 傷付別 1. 発根促進剤 (2) 調査 ア 多段根苗の調査 イ 生長量調査 ウ 気温及湿度		1. 昭和55年度(56.3 挿付) (1) 多段根苗育苗 オキシロン粉剤区, 液剤区, 対照区に区分 徒傷, 斜傷別に処理さ(付). 2. 昭和56年度 (1) 堀取調査(57.3) ア 苗長(L), 全重(G) 毎木 イ 着根部分の長さ(l) ウ 一般根部分の長さ(q1) エ 他の部分の根の長さ(q2) イ.ウ.エ.は 標本10本を調査 (2) 林地植付(57.3)		1. 調査事項 生長量(樹高)調査 5. 7. 9. 11 月末 2. 調査結果とりまとめ 完了報告書提出				クローン別生長量 (5 成長期)				1 生長について クローン間の生長は 果始良11号が最良で 最悪の果始良7号は 約半分の生長にとど まっている。 多段根, 普通根の平 均的傾向は, 多段 根の有意性は認め られず, むしろ生長率 で普通根に及ばな い状況にある。 クローン別にみても 多段根の優位なも のは宮崎6号のみで 他のクローンは普通 根に劣る結果とな っている。 試験結果からみて 多段根の普及には 疑問が残るとして ある。			
2. 林地植付 (1) 多段根苗及び普通苗の植付 ア さ(木)養苗一年生570-ン イ. 多段根, 普通根各70-ン共 20本 x 570-ン = 100本								70-ン							
3. 作業方法 多段根苗と普通根苗を プロット別に徒植								根 別							
4. 調査事項 (1) 活着率調査 (2) 生長量調査(樹高) 毎年 5月 7月, 9月, 11月末								植栽時				60年1月 生長量			
								高岡署				多段根 42.5 191.1 162.6			
								1号				普通根 42.8 205.4 162.6			
								宮崎署				多段根 53.3 274.1 229.9			
								6号				普通根 45.6 222.4 188.8			
								果始良				多段根 58.0 175.2 172.2			
								7号				普通根 49.4 154.1 104.7			
								果始良				多段根 45.9 226.8 220.9			
								11号				普通根 40.0 257.4 272.3			
								日南				多段根 44.4 229.2 159.8			
								1号				普通根 34.8 225.5 190.7			
								計				多段根 244.1 1146.4 922.3			
												普通根 212.6 1674.7 862.1			
								平均				多段根 43.8 229.2 182.5			
												普通根 42.5 214.9 172.5			

昭和60年度

造林木成長量調査報告

都成営林署

大川原班3区

昭和56年度測定

教掛 国月林

120ヶ坪小班

クローン名(集計)							クローン名(集計)								
処理別	番号	60年5月	60年7月	60年9月	60年11月	計	備考	処理別	番号	60年5月	60年7月	60年9月	60年11月	計	備考
普通根								多段根							
高岡署1号		6.1	14.8	12.5	2.4	36.7	225.4	高岡署1号		4.8	10.2	12.5	2.2	29.7	191.1
宇治署6号		7.6	21.7	25.5	2.2	57.0	232.4	宇治署6号		6.0	26.7	22.5	2.6	57.8	274.1
泉谷良11号		2.3	6.8	7.9	1.8	18.7	154.1	泉谷良11号		2.6	5.2	10.4	2.9	21.2	175.2
泉谷良7号		5.4	21.9	23.4	1.9	52.6	257.3	泉谷良7号		4.6	27.2	22.4	2.2	56.4	276.8
泉日輪1号		6.7	25.8	28.4	7.5	68.4	225.5	泉日輪1号		6.8	26.7	26.9	5.8	66.2	229.2
計		28.1	101.0	98.7	15.8	243.6	樹高(10747)	計		24.8	96.0	104.7	15.7	241.2	樹高(1464)
平均		5.6	20.2	19.7	3.2	48.7	214.9	平均		5.0	19.2	20.9	3.1	48.3	229.3
								比較		普通根(48.7) > 多段根(48.3) 差(0.4)					

昭和60年度

造林木成長量調査報告

都 成宮林署

大川原地区

昭和56年度調査

新掛園林

120号林小班

クローン名(高岡署1号)							クローン名(高岡署1号)								
処理別	番号	60年5月	60年7月	60年9月	60年11月	計	備考	処理別	番号	60年5月	60年7月	60年9月	60年11月	計	備考
普通根	1	6	13	15	3	37		多段根	1	3	7	21	2	33	
	2	6	9	12	3	30			2	6	16	14	4	40	
	3	0	17	14	3	34			3	0	9	8	3	20	
	4	0	15	16	2	33			4						
	5	4	12	9	3	28			5	4	9	17	2	32	
	6	11	12	14	3	40			6	10	22	14	2	48	
	7	1	13	16	2	32			7	5	2	15	1	23	
	8								8	7	7	16	2	32	
	9	6	19	16	0	41			9	1	19	11	0	25	
	10	12	18	11	1	42			10	1	15	9	1	26	
	11								11	0	1	6	1	8	
	12	10	17	24	2	53			12	9	8	19	1	37	
	13	15	17	14	1	47			13	6	12	12	4	34	
	14	4	20	19	2	45			14	1	4	15	3	23	
	15	11	20	19	2	50			15	5	7	16	1	29	
	16	9	15	9	2	35			16	6	19	13	1	39	
	17	8	12	6	7	33			17	14	20	12	3	49	
	18	0	22	10	2	34			18	0	7	8	1	16	
	19	5	13	15	2	35			19	2	13	4	1	20	
	20	0	7	11	2	20			20	12	3	13	8	36	
計		104	251	229	40	624	樹高(205.3)	計		92	194	207	41	564	樹高(196.1)
平均		6.1	14.8	13.5	2.4	36.7		平均		4.8	10.2	12.5	2.2	29.7	
								比較		普通根(36.7) > 多段根(29.7) 差(7.0)					

昭和60年度

造林木成長量調査報告

都城営林署

大川原班

昭和56年度製

鞍掛園

120号林班

クローン名(宮崎署6号)							クローン名(宮崎署6号)								
処理別	番号	60年5月	60年7月	60年9月	60年11月	計	備考	処理別	番号	60年5月	60年7月	60年9月	60年11月	計	備考
普通根	1	0	04	07	0	74		多段根	1	0	15	27	1	40	
	2	0	01	26	0	60			2	0	19	22	6	50	
	3	2	00	05	1	71			3	0	20	42	5	70	
	4	6	20	27	1	54			4						
	5	9	16	17	0	42			5	0	26	08	5	69	
	6	15	24	56	0	95			6	27	0	5	2	04	
	7								7	5	01	21	1	58	
	8	12	17	30	0	59			8	4	28	00	0	68	
	9	11	28	08	2	79			9	0	02	45	1	78	
	10	6	26	17	2	51			10	0	25	47	0	75	
	11	00	0	1	1	02			11	6	29	05	2	72	
	12	4	29	21	5	69			12	4	02	28	4	68	
	13	1	28	04	4	67			13	10	29	28	1	71	
	14	0	21	28	9	58			14	7	05	28	0	70	
	15	27	0	19	2	48			15	0	00	40	2	77	
	16	6	22	17	0	45			16	14	40	40	2	100	
	17	0	18	9	0	00			17	9	24	26	2	61	
	18	4	25	10	2	41			18	7	24	40	4	78	
	19	0	26	00	2	64			19	6	04	09	1	80	
	20	2	15	20	1	08			20	6	28	09	4	67	
計		144	410	485	41	1080	樹高(222.4)	計		114	508	618	49	1289	樹高(274.1)
平均		7.2	21.7	25.5	2.7	57.0		平均		6.0	26.7	32.5	2.6	67.8	
								比較		普通根(57.0) < 多段根(67.8) 差(10.8)					